

みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

<市政相談連絡先>

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

9月市議会定例会報告

令和2年第4回市議会定例会は、9月11日から10月2日までの22日間の会期で開かれました。

本定例会では、令和元年度高崎市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について、高崎市水道事業会計及び高崎市公共下水道事業会計利益の処分及び決算認定について、請負契約の締結について（新町防災体育館（仮称）建設工事）、業務委託契約締結について（教育系ネットワーク改修業務）、財産の取得について（消防ポンプ自動車（CD-I型））、高崎市新型コロナウイルス緊急経済対策基金条例の制定について、箕郷矢原宿カフェ設置及び管理に関する条例の制定について、令和2年度高崎市一般会計補正予算（第6・7号）、高崎市教育委員会委員の任命同意についてなどの議案の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。開会日に市長提出議案が上程され、議決または委員会へ付託されます。ただし、決算認定議案については、提案理由の説明後に監査報告があり、今回は、市民クラブの代表者による総括質疑を行い各委員会へ付託されるという流れで進みました。執行された金額だけでなく、事業の成果や今後の方向性なども議論し10月2日に閉会しました。

<令和元年度決算認定関係報告>

～議決・認定～

一般会計及び国民健康保険事業ほか7特別会計を合算した決算総額は、歳入が2,449億3,408万円、歳出が2,394億4,537万円で、前年度に比べ歳入が18億9,297万円（0.8%）の増加、歳出が26億549万円（1.1%）増加しました。

一般会計の歳入歳出差し引き額は43億6,278万円となり、このうち翌年度へ繰り越すべき財源7億1,053万円を除いた実質収支額は、36億5,225万円、さらに30億円を財政調整基金に積み立てた結果、翌年度純繰越額は、6億5,225万円となりました。

引き続き限られた財源をいかに効率よく、効果的な事業に配分していくかという視点を重視し、選択と集中による「新しい高崎」の理念と基本政策の実現に向けた具体的な施策を積極的に実施してきた結果と言えるでしょう。事業成果と課題については各常任委員会と所管の特別委員会において詳細に審議しました。



令和元年度 主な各基本政策の決算認定関係報告

【教育と人づくり】

◎小中学校のトイレ洋式化工事	小学校25校	60,230,860円
	中学校16校	40,375,265円
◎教育用パソコンの整備	小学校全58校	196,650,304円
	中学校全25校	111,633,780円
◎幼稚園教育振興費		688,747,843円

【産業の振興】

◎まちなか商店リニューアル助成金	355件	290,847,000円
◎産業立地振興奨励金	25社	404,556,900円

【文化と歴史を活かした創造的な高崎】

◎榛名湖アーティスト・レジデンス改修工事		81,003,720円
◎浜川運動公園拡張整備事業 テニスコート整備等		933,596,576円

【やさしい眼差しに満ちた市政】

◎地域子育て支援センター等事業委託		85,621,953円
◎経費老人ホーム事務費補助金	12事業所	278,580,095円
◎生活保護事業 扶助費		5,977,604,013円

【安心・安全な地域社会づくり】

◎防災情報放送システム整備	39か所	62,700,000円
◎市有施設ブロック塀改修工事	11件（学校以外）	36,548,000円

【大勢の人が歩き、賑わう街】

◎都市集客施設整備事業（芸術劇場等）		9,160,140,258円
◎高崎駅周辺ペDESTリアンデッキ整備事業		1,007,495,676円

高崎市のニュースサイト『高崎新聞』に高橋美奈雄の一般質問が紹介されました

9月17日に「新しい生活様式における公共施設の在り方と今後について～
・地域住民に身近な施設 ・高崎駅周辺の集客施設」というタイトルで一般質問
を行い、その内容が紹介されました。詳細は次号に掲載させていただきます。